

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 29日

富山県知事

新田 八朗 殿

提出者

住所 富山県氷見市下田子1-3

氏名 株式会社小松製作所 氷見工場

工場長 林 譲二

電話番号 (0766) 91-1511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社小松製作所 氷見工場
事業場の所在地	富山県氷見市下田子1-3
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

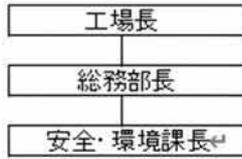
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設機械用鋳鉄鋳鋼部品製造業
② 事業の規模	423億円（令和4年度売上実績）
③ 従業員数	994名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	ダスト、砂⇒焙焼工程⇒セメント原料、再生砂 スラグ、ダスト、砂⇒固化⇒破碎、選別⇒再生路盤材 廃プラスチック、廃油⇒焼却（サーマルリサイクル）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	26,360 t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生路盤材の原料とすることにより埋立処分量の大幅削減 ・汚泥の分離装置導入による再生砂化の推進 ・鉄分比率の高い集塵ダストの再溶解		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	25,752 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥分級機を利用した汚泥中の鉄分取り出しによる汚泥量削減 ・鋳物砂への再利用の推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鋳さい、廃プラ、廃油、汚泥、木屑等 各廃棄物種類の中でも可能な限り分別を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず	ガラス・陶磁器屑
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	7,940 t	325 t	6,440 t
	(これまでに実施した取組) 再生路盤材の原料とすることにより埋立処分量の大幅削減を行った。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず	ガラス・陶磁器屑
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	7,845 t	321 t	6,363 t
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者処理委託	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

別紙1

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業 処理委託量	別紙2	t
	再生利用業者 処理委託量		t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元

完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応

事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了する

までの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

請
じ
ま
と。

中
間

量
行
収
あ
へ

と
の
入

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1)

【前年度（令和4年度）実績】						
産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃プラ	廃酸	廃アルカリ	
全処理委託量	263t	1,600t	135t	4t	31t	
優良認定処理業者への処理委託量	227t	1,600t	135t	4t	31t	
再生利用業者への処理委託量	36t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(これまでに実施した取組) ・汚泥の分離装置導入による再生砂化の推進						

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃プラ	廃酸	廃アルカリ	
全処理委託量	260t	1,423t	133t	4t	31t	
優良認定処理業者への処理委託量	230t	1,423t	133t	4t	31t	
再生利用業者への処理委託量	30t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(今後実施する予定の取組) ・汚泥分級機を利用した汚泥中の鉄分取り出しによる汚泥量削減						

(別紙2)

【前年度（令和4年度）実績】						
産業廃棄物の種類	木くず	鋳さい	ばいじん	ガラス・陶磁器屑	金属くず	
全処理委託量	130t	7,504t	16t	12t	1,925t	
優良認定処理業者への処理委託量		7,504t	16t	12t		
再生利用業者への処理委託量					1,925t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>ばいじんのアーク炉への再投入により、ばいじん発生量の削減 使用可能な木パレットの業者返却を進め、木くず発生量の削減</p>						

【目標】						
産業廃棄物の種類	木くず	鋳さい	ばいじん	ガラス・陶磁器屑	金属くず	
全処理委託量	128t	7,314t	16t	12t	1,902t	
優良認定処理業者への処理委託量	50t	7,314t	16t	12t		
再生利用業者への処理委託量					1,902t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
<p>(今後実施する予定の取組)</p>						